

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
防衛大臣 岩屋 毅 殿

米軍岩国基地所属のFA18 戦闘攻撃機と空中給油機の 高知沖での墜落事故に抗議するとともに訓練飛行の中 止、岩国基地撤去を求める

2018年12月8日

高知県平和委員会

12月6日未明、米軍岩国基地（山口県）所属のFA18 戦闘攻撃機とKC130 空中給油機が、高知県沖88.5キロの海上で訓練中に空中接触し、墜落しました。この事故は日米が合意した岩国基地滑走路の運用時間（午前6時30分～午後11時）に反し午前0時54分に岩国基地を飛び立ったものと推定されます。

FA18は2016年12月には高知沖で墜落しています。今年11月12日にも、日米共同訓練中に沖縄沖で墜落しています。その事故原因の究明もないまま、米軍は飛行を再開し、日本政府はこれを容認してきています。FA18は1999年1月にも空中給油中に接触事故で香南市夜須町沖に墜落しています。夜間の空中給油は極めて危険です。

今回の高知県沖の墜落現場は、漁民が毎日操業のため行き来しているところです。幸いにして今回は漁船に被害はなかったものの、厚木基地から岩国基地に空母艦載機が移駐し、訓練も関東沖から高知県沖にかわり行われるようになっており、今回の墜落事故を見過ごすことはできません。

FA18をはじめとする海兵隊航空部隊も空母艦載機も、米軍の海外への「殴り込み」作戦のための航空機であり、日本防衛とは無縁の侵略的部隊です。このような部隊のために、高知県の山間部では無謀な低空飛行訓練に悩まされ海上では今回のような墜落事故で県民の日常生活が破壊され、命が脅かされる状態を放置することは許されません。私たちは、これらの訓練中止と米軍岩国基地の撤去を強く求めるものです。